

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月12日

計画の名称	真庭市宅地耐震化推進事業														
計画の期間	令和03年度～令和04年度（2年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	真庭市														
計画の目標	第2次スクリーニング計画の策定し、大規模盛土の安全性の判断に活用する														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		5	A	5	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3末		R4末
1	現地踏査及び優先度評価 16箇所			
	市内にある大規模盛土造成地16箇所の現地踏査及び優先度評価	0箇所	箇所	16箇所
	現地踏査及び優先度評価			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	真庭市	直接	真庭市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第2次スクリーニング計画の 策定	真庭市	■	■				5		-	
												小計						5		
											合計						5			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
真庭市建設部都市住宅課が実施	令和5年10月に実施
	公表の方法
	真庭市のホームページ掲載により公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、基礎資料をもとに現地踏査、優先度評価を実施した。 第二次スクリーニング計画を策定して、安心して暮らせる地域づくりに寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
優先度の高い箇所について、新たな社会資本総合整備計画（大規模盛土造成地における宅地耐震化の推進（安全・防災））により、簡易地盤調査を実施する。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	現地踏査及び優先度評価の箇所数		
	最 終 目標値	16箇所	
	最 終 実績値	16箇所	